

地域猫活動により猫を見守る人々がいます

交通事故などで亡くなる不幸な猫を増やさないために地域猫活動に取り組む個人・団体がいます。また、団体の中には地域猫活動の他、多頭飼育崩壊などの飼い猫の相談も受け付けている支援団体もあります。

地域猫活動をする場合・・・

- 管理する猫の行動を十分に把握しましょう
- ふんの片付けや近隣住民への周知をしましょう
- 活動者としての責任を持ちましょう

さくらねこ

不妊手術済みの猫は印として耳がさくらの花びらのようにV字カットされています。この耳の形から手術済みの猫は「さくらねこ」と呼ばれています。

V字カットの耳が特徴



不妊手術を施した猫(さくらねこ)に、時間や場所などのルールを守った餌やりを行いながら目的を持って見守る地域猫活動は、無責任な餌やり行為とは異なる活動です。



◀時間や場所を守った餌やりの様子

地域猫活動に取り組む人々へのご理解ご協力を

飼い主のいない猫の無料不妊手術事業を開始しました

市では、飼い主のいない猫の不妊手術費を公益財団法人どうぶつ基金が負担する不妊手術チケットの利用を開始しました。申し込む場合は、事前に環境政策課へお問い合わせください。

申し込み 直接環境政策課(清掃リサイクルセンター21管理棟)へ

申し込みの注意事項

- 手術後に元の場所に戻し、地域猫活動として管理していく猫が対象です
- 手術後に飼い猫とする予定の猫は対象外です
- 手術の指定病院、手術実施日、追加費用などの条件があります
- 猫の捕獲・病院への搬入は自身で行ってください
- 毎月の不妊手術チケットの配布枚数には限りがあります



～9月20日から26日は動物愛護週間～

動物と共存する心豊かな社会のため、ペットとの生活について考えてみましょう。

- 餌やトイレなどの世話を毎日欠かさずしていますか？
- 自分勝手な行動でペットを困らせていませんか？
- 飼育できる頭数を自覚していますか？
- ペットにかかる費用を把握していますか？
- 近隣住民に迷惑をかけていませんか？



**ペットを捨てること
傷つけることは犯罪です
飼い主としての責任
を持って飼育しましょう**



地域猫活動

～猫と人の共存を目指して～



家で飼育できなくなった猫を捨てることや、飼い主のいない猫へ無責任に餌をあげることで猫が繁殖し、悪臭や鳴き声などによる生活環境の悪化に悩む相談が増えています。また、猫が交通事故などで命を落とす悲しい出来事も増えています。飼い主のいない猫を増やさない対策として地域住民と猫の共存を目指す「地域猫活動」という取り組みがあります。
問い合わせ 環境政策課(☎27-2733)

飼い主のいない猫に迷惑している人からの相談があります

- 庭にふんや尿をされて迷惑
 - 鳴き声がうるさい
 - 畑や花壇、ごみ捨て場を荒らされる
 - 子猫が生まれて、どんどん増えている
 - 迷惑な猫を市で捕まえてほしい
- ➔市で猫を保護することはできません



猫が庭などに入らないようにする方法

猫の嫌う臭いをまいたり砂利を敷いたりすることで、猫が庭などに入らないようにする方法があります。詳しくは市ホームページを確認してください。



市ホームページ

飼い主のいない猫を助けたいと思う人の声もあります

- かわいそうなので猫を助けたい
 - 庭に来る猫を放っておけない
 - 交通事故などで亡くなる不幸な猫を減らしたい
 - 猫に餌をあげたい
- ➔単純に餌をあげるだけでは猫が繁殖し、猫による被害が拡大してしまいます

市内の交通事故などによる猫の回収数

約1,000匹(令和4年度)

交通事故に遭わないよう猫は家の中で飼いましょう！

人と猫が共存し、猫を増やさない方法が「地域猫活動」

①飼い主のいない猫に不妊手術を

屋外で暮らす猫の寿命は4～5年と言われています。不妊手術を行うことで、一代限りとなり、時間をかけて飼い主のいない猫を少しずつ減らせます。

②適切な管理・見守りを

不妊手術済みの猫を元の場所に戻し、ルールを守った餌やりや猫用トイレの設置、ふん尿の片付けをすることで、近隣の生活環境の悪化を防ぎながら猫を見守ります。

③近隣への周知・理解を

活動する人は近隣住民へ活動の目的を周知し、理解を求めながら活動します。活動内容をよく説明し、近隣の人々とのトラブルを未然に防ぎます。